



2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月14日

上場会社名 株式会社ウエストホールディングス 上場取引所 東
コード番号 1407 URL <https://www.west-gr.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 江頭 栄一郎
問合せ先責任者（役職名） 経営企画部 IR担当（氏名） 勝又 伸生（TEL） 03-6812-2501
半期報告書提出予定日 2025年4月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	14,868	△25.3	1,438	△50.6	1,112	△56.7	546	△70.7
2024年8月期中間期	19,915	34.6	2,913	92.8	2,568	110.7	1,864	77.1

（注）包括利益 2025年8月期中間期 579百万円（△69.9%） 2024年8月期中間期 1,925百万円（76.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	13.78	—
2024年8月期中間期	45.84	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	127,643	31,411	24.5
2024年8月期	125,897	33,399	26.4

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 31,229百万円 2024年8月期 33,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2025年8月期	—	0.00	—	—	—
2025年8月期（予想）	—	—	—	65.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,418	12.0	13,221	24.8	11,921	19.7	8,010	18.5	201.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年8月期中間期	46,027,488株	2024年8月期	46,027,488株
② 期末自己株式数	2025年8月期中間期	6,368,044株	2024年8月期	6,367,813株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年8月期中間期	39,659,583株	2024年8月期中間期	40,660,043株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する概況	2
(2) 財政状態に関する概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、世界的なインフレの継続や金融・為替動向等による様々な影響が懸念されるものの、海外経済が緩やかな成長を続けるもとでの適度に緩和的な金融環境等を背景に、不十分ながらもマクロ的な需給ギャップの改善に伴う賃金と物価の好循環が定着する兆しが見受けられる等、景気は徐々に持ち直しの気配を示しつつあります。

一方で事業環境は、2020年10月の菅政権による、我が国が2050年までにカーボンニュートラルを目指す宣言、及び2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比46%削減する目標設定を契機とする、環境意識の大幅な高まりが持続しており、さらに昨年末に公表された2040年度の電源構成を定めた新たなエネルギー基本計画原案においては、再生可能エネルギーの比率を最大5割とし、うち太陽光を2023年度の発電実績比3.6倍とする方針が示される等、将来的な一層の需要拡大が見込まれる状況にあります。

このような状況の中、当社グループは2023年8月期より、再生可能エネルギーをとりまく環境変化に迅速に対応するため、事業構造の大幅な転換に舵をきりました。自家消費型産業用太陽光発電所請負事業と非FIT発電所開発販売事業を二本柱として経営資源を集中し、非FIT関連事業を大きく伸ばしていく内容であり、それぞれの事業の立ち上げに注力した昨年度に引き続き、今年度からは着実な施工能力拡大に取り組みつつ、本格的な成長に向けてスタートを切りました。また、将来に向けての取組みとして、大規模蓄電所の開発、次世代太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」を使った施工体制の確立、陸上風力発電所事業の事業化等、新規事業へも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間においては、売上高は14,868百万円（前年同期比25.3%減）、営業利益は1,438百万円（前年同期比50.6%減）、経常利益1,112百万円（前年同期比56.7%減）及び親会社株主に帰属する中間純利益546百万円（前年同期比70.7%減）を計上いたしました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の金額については、売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は固定資産の未実現利益消去等調整前の金額であります。

① 再生可能エネルギー事業

上半期を通じて、産業用太陽光発電所請負事業、非FIT太陽光発電所開発販売事業ともに着実に案件を積み上げ、計画に沿った工事進捗を示していたものの、2月の長期間にわたる大雪と寒波・異常低温の影響により、特に山間部において路面や建設用地の凍結が相次いだことから、工事や最終検査に遅れが生じることとなり、売上高約20億円の物件引渡が第3四半期以降にずれ込むこととなりました。また、元々第3四半期以降に完成予定案件が大きく増加する計画であるところ、さらに当中間連結会計期間からのずれ込み物件が加わったことから、第3四半期以降大幅に増加する完成予定案件の資材確保、配送にかかる物流費用が先行的に嵩むこととなりました。

しかしながら、上記いずれの要因も通期計画に対し大きな影響を与えるものではなく、案件ストック、工事仕掛案件は予定通り積み上がっており、上半期の計画未達分は下半期で埋め合わせることが可能と考えております。

以上の結果、売上高は11,393百万円（前年同期比30.0%減）、営業利益729百万円（前年同期比61.6%減）となりました。

② 省エネルギー事業

提携金融機関とのアライアンスによる情報を活用し、商業施設や工場・病院等のエネルギーを大量に消費する施設に対し省エネのトータルサービスを提供、特にお客様に初期費用の負担が生じないウエストエスコ事業の受注拡大に努めてまいりました。このウエストエスコ事業については、施工実績が増加することにより、LED照明は5年から7年、空調設備は10年から12年にわたり、将来の安定収入に繋がるストック事業であります。

足元では、LED照明の契約が軒並み満期を迎える時期となっており、収益資産・売上ともに減少傾向にありますが、新規商材である冷凍冷蔵設備の温度制御システムが立ち上がったことから、今後減少分をしっかりとカバーしてまいります。引き続き重要事業としての位置づけは変わらず、太陽光発電所関連のお客様に対するソリューション提案の一環とし、既存顧客へのクロスセルを含め注力してまいります。

以上の結果、売上高は611百万円(前年同期比31.0%減)、営業利益187百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

③ 電力事業

グリーン電力卸売事業は立ち上げ期にあたりますが、今後グリーン電力調達源の非FIT発電所の開発件数が増加するに従い、取扱高も増加していく見込みです。自社売電事業におきましては、昨年度において銅価格の高騰、国内建設用電線不足を要因とするメガソーラーケーブルの盗難が相次ぎ、復旧期間中の売電機会の喪失に見舞われましたが、順次対策を実施し盗難防止に備えております。

以上の結果、売上高は2,111百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益172百万円(前年同期比64.0%減)となりました。

④ メンテナンス事業

当社グループにて企画・設計・施工を行ったメガソーラー発電所を中心に、安定した売電収入を得られることを目的として施設の継続的なメンテナンスを行い、太陽光発電所のオーナー様へ安全・安心・感動を提供し、受注実績を積み上げてまいりました。契約総容量は前期末1,281.6MWより当中間連結会計期間末1,320.8MWと、着実に増加しております。当社グループの施工件数の増加に伴い、契約件数の一層の拡大が期待できます。

以上の結果、売上高は952百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益305百万円(前年同期比14.2%増)となりました。

⑤ その他

その他の売上高は0百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益0百万円(前年同期比0.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比1,745百万円増加し127,643百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末比3,734百万円増加し96,232百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末比1,988百万円減少し31,411百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

資産の増加の主な要因は、完成工事未収入金が1,163百万円及び売掛金が419百万円それぞれ減少した一方、現金及び預金が1,721百万円及び土地934百万円、商品633百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債の増加の主な要因は、未払法人税等が2,303百万円及び工事未払金が1,912百万円それぞれ減少した一方、長期借入金が5,839百万円及び短期借入金が2,141百万円増加したことによるものであります。

純資産の減少は、親会社株主に帰属する中間純利益を546百万円計上した一方、配当金の支払いを2,577百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の連結業績予想につきましては、2024年10月15日付「2024年8月期 決算短信」において公表した数値から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,676	29,397
売掛金	1,000	581
リース債権	5,078	4,798
完成工事未収入金	20,646	19,482
商品	10,591	11,224
販売用不動産	56	110
未成工事支出金	2,899	3,467
原材料及び貯蔵品	50	12
その他	8,617	7,859
貸倒引当金	△98	△93
流動資産合計	76,518	76,842
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	20,519	20,431
土地	18,307	19,242
その他(純額)	2,007	1,915
有形固定資産合計	40,834	41,588
無形固定資産	806	712
投資その他の資産		
投資有価証券	1,742	1,740
長期貸付金	908	1,437
繰延税金資産	1,572	1,571
その他	3,627	3,858
貸倒引当金	△112	△109
投資その他の資産合計	7,738	8,499
固定資産合計	49,379	50,801
資産合計	125,897	127,643

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	529	402
工事未払金	3,888	1,976
1年内償還予定の社債	120	100
短期借入金	18,612	20,753
未払法人税等	2,742	439
完成工事補償引当金	169	136
その他	8,444	8,558
流動負債合計	34,507	32,367
固定負債		
社債	50	—
長期借入金	56,553	62,393
資産除去債務	940	936
繰延税金負債	0	0
その他	445	534
固定負債合計	57,990	63,864
負債合計	92,497	96,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,020	2,020
資本剰余金	781	791
利益剰余金	36,350	34,319
自己株式	△6,062	△6,062
株主資本合計	33,090	31,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	122
為替換算調整勘定	19	36
その他の包括利益累計額合計	140	159
非支配株主持分	168	182
純資産合計	33,399	31,411
負債純資産合計	125,897	127,643

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	19,915	14,868
売上原価	13,274	9,868
売上総利益	6,640	4,999
販売費及び一般管理費	3,727	3,561
営業利益	2,913	1,438
営業外収益		
受取利息	4	13
受取配当金	9	11
為替差益	—	3
還付加算金	6	0
受取保険金	—	103
その他	8	8
営業外収益合計	27	140
営業外費用		
支払利息	358	452
支払手数料	3	9
為替差損	10	—
その他	0	3
営業外費用合計	372	466
経常利益	2,568	1,112
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	2	1
特別損失合計	2	1
匿名組合損益分配前税金等調整前中間純利益	2,566	1,111
匿名組合損益分配額	11	10
税金等調整前中間純利益	2,555	1,100
法人税等	691	365
過年度法人税等	—	173
中間純利益	1,864	561
非支配株主に帰属する中間純利益	—	14
親会社株主に帰属する中間純利益	1,864	546

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純利益	1,864	561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	1
為替換算調整勘定	15	16
その他の包括利益合計	61	18
中間包括利益	1,925	579
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,925	559
非支配株主に係る中間包括利益	—	19

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,555	1,100
減価償却費	1,110	1,228
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△30	△8
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△11	△32
受取利息及び受取配当金	△13	△25
支払利息	358	452
売上債権の増減額(△は増加)	898	1,901
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,813	△1,422
前渡金の増減額(△は増加)	△735	812
仕入債務の増減額(△は減少)	△655	△1,983
未成工事受入金の増減額(△は減少)	77	361
未収入金の増減額(△は増加)	644	230
未払金の増減額(△は減少)	59	△66
未払消費税等の増減額(△は減少)	△938	△246
前受金の増減額(△は減少)	386	289
預り金の増減額(△は減少)	△76	△69
その他	△895	△691
小計	△80	1,829
利息及び配当金の受取額	13	34
利息の支払額	△358	△466
保険金の受取額	—	103
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	293	△2,570
過年度法人税等の支払額	—	△173
営業活動によるキャッシュ・フロー	△132	△1,241

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△100	△0
有形固定資産の取得による支出	△2,047	△1,428
無形固定資産の取得による支出	△4	△7
敷金及び保証金の回収による収入	1	2
敷金及び保証金の差入による支出	△17	△10
長期貸付金の回収による収入	2	41
長期貸付けによる支出	△374	△554
その他	5	△204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,534	△2,162
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	693	423
長期借入れによる収入	8,673	17,446
長期借入金の返済による支出	△8,728	△10,081
社債の償還による支出	△70	△70
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△2,234	△2,575
その他	△5	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,673	5,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,290	1,721
現金及び現金同等物の期首残高	46,263	27,818
現金及び現金同等物の中間期末残高	41,973	29,540

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首より適用しております。これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	再生可能 エネルギー事業	省エネルギー事業	電力事業	メンテナンス事業	計				
売上高									
メガソーラー (再生・開発)	140	—	—	—	140	—	140	—	140
産業用太陽光発電	8,858	—	—	—	8,858	—	8,858	—	8,858
非FIT発電所 (WEST FIT)	6,965	—	—	—	6,965	—	6,965	—	6,965
エスコ	—	96	—	—	96	—	96	—	96
電力卸売	—	—	339	—	339	—	339	—	339
自社売電	—	—	1,629	—	1,629	—	1,629	—	1,629
総合管理・保守	—	—	—	788	788	—	788	—	788
その他	—	—	—	—	—	0	0	—	0
顧客との契約から 生じる収益	15,963	96	1,968	788	18,817	0	18,818	—	18,818
その他の収益	307	790	—	—	1,097	—	1,097	—	1,097
外部顧客への売上高	16,270	886	1,968	788	19,914	0	19,915	—	19,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	—	173	179	—	179	△179	—
計	16,276	886	1,968	962	20,094	0	20,095	△179	19,915
セグメント利益	1,900	209	477	267	2,854	0	2,854	58	2,913

(注) 1. セグメント利益の調整額58百万円には、固定資産の未実現利益消去65百万円、本社費用の配賦差額△7百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	再生可能 エネルギー 事業	省エネ 省エネルギー 事業	電力事業	メンテナ ナンス事業	計				
売上高									
メガソーラー (再生・開発)	450	—	—	—	450	—	450	—	450
産業用太陽光発電	4,772	—	—	—	4,772	—	4,772	—	4,772
非FIT発電所 (WEST FIT)	5,592	—	—	—	5,592	—	5,592	—	5,592
エスコ	—	3	—	—	3	—	3	—	3
電力卸売	—	—	579	—	579	—	579	—	579
自社売電	—	—	1,531	—	1,531	—	1,531	—	1,531
総合管理・保守	—	—	—	772	772	—	772	—	772
その他	—	—	—	—	—	0	0	—	0
顧客との契約から 生じる収益	10,815	3	2,111	772	13,703	0	13,703	—	13,703
その他の収益	556	607	—	—	1,164	0	1,164	—	1,164
外部顧客への売上高	11,371	611	2,111	772	14,867	0	14,868	—	14,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	—	—	179	200	—	200	△200	—
計	11,393	611	2,111	952	15,068	0	15,068	△200	14,868
セグメント利益	729	187	172	305	1,394	0	1,394	43	1,438

(注) 1. セグメント利益の調整額43百万円には、固定資産の未実現利益消去66百万円、本社費用の配賦差額△22百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。